

Case : 184

電話機と間違えて操作し続けたため、ベッドが最大高まであがってしまう

場面の説明

手元スイッチを受話器と勘違いしており、操作ボタンを押しているうちにベッドの高さが上がってしまった



利用シーン	 リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

事故にならないければ、ひやりとしなければ見過ごしてしまうようなことでも、実は「ひとつ間違えば…」という危険な場面はたくさんあります。この事例も、手元スイッチのコードが体に巻きつく、最大高さのベッドから降りようとするなど「ひとつ間違えば…」の場면을想像すると、単なる笑い話では済まされない危険を感じます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：手元スイッチを受話器と勘違いしていた
- 人：利用者が触れる位置に手元スイッチを置いていた
- 人：認知症状があった
- モノ：手元スイッチに誤操作防止のためのロック機構がなかった